科目名	フランス語Ⅱ　　French II						
科目担当者	白石 敬晶　　SIRAISHI Takaaki						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　外国語］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　外国語］					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	テキストにしたがって、基礎的な項目（語彙、表現、文法）の概説と、例文の発音、動詞の活用の練習を行う。動詞の活用については原則として、毎回、暗唱（小テスト）できるようにする。 　練習問題については、順番に指名し、ホワイトボードに解答し、誤りがあれば訂正し、解説を行う。 　また、パソコンを使って、特殊文字を含めたフランス語の入力も行う。 英語以外の外国語を学ぶことにより、多言語への関心と文化に対する興味を持たせる。						
授業の到達目標	①　フランス語の基礎的運用能力を身につけ、コミュニケーション能力を高める。 ②　簡単な日常会話ができる。 ③　フランス語の文化的背景を学ぶ。 ④　パソコンでフランス語を正確に入力できる。 これらによって国際的視野(人間性・教養・国際性)を持ち、国内外の広いフィールドで中核的な人材として活躍するための専門的な知識、技能、読む力、考える力及び判断力(専門力・読解力・思考力・判断力)を身に付ける。						
授業計画・内容	1	さまざまな疑問文					
	2	所有形容詞					
	3	前置詞					
	4	ir 動詞					
	5	命令形					
	6	数字（60～　）					
	7	疑問詞① Quand, Où, Comment, Pourquoi, Qui, Que/Quoi, Combien					
	8	動詞 faire と prendre					
	9	avoir を使う複合過去					
	10	être を使う複合過去					
	11	時の表現					
	12	疑問詞②Quel, Quelle, Quels, Quelles					
	13	動詞 vouloir, pouvoir と devoir					
	14	比較級					
	15	最上級					
授業外学修 (事前学修)	次回の講義内容と音声ファイル（Moodle 上に記載）を事前に目を通し、新しい語彙や表現と発音練習をしておく。（毎週 2 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	毎回の講義内容と音声ファイル（Moodle 上に記載）を整理、記憶し、新しい語彙や表現と発音練習をしておく。（毎週 2 時間程度）						
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法			評価比率		到達目標との対応	
	定期試験 小テスト			70% 30%		①、③、④ ①、②	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	松村博史・バンドロム・エディ『クロワッサン 1 基礎からわかるフランス語 改訂版』 朝日出版社						
参考文献							
その他	ノートパソコン必須						